

私たち「伊吹山もりびとの会」の活動は、1989年の夏、数名の会員が山頂の登山者に「花のガイド」をはじめたことが活動の原点でした。

以来30年間、全国から来山される花好きな登山者に夏の花の最盛期の2週間、毎日5～6名の会員が出動してボランティアガイド活動を続けています。



今夏も7月25日から8月9日までの16日間実施する計画でしたが、梅雨明けが遅れたため7月29日がスタート日となりました。

また今年はコロナウィルスの影響で伊吹山を観光される団体バスツアーが激減し、代わってファミリーでの来山者が多くを占めました。

出動した会員は2班に分かれ、1班がシモツケソウ再生地前でネット内や登山

道脇に咲く花をガイドし、他班は山頂で伊吹山の自然や植生の話をした後、山頂を三角点まで周回しながら咲いている花をガイドしました。参加者には少し伊吹山について理解を深めていただけたものと思います。

8月に入ってガイド日程の終盤になると、かつての伊吹山を思い起こさせる再生地のシモツケソウが満開となり来山者にとっても喜ばれました。

